

あなたもお読みください  
 真実つたえ希望はこぼ  
 しんぶん **赤旗**  
 日刊 1カ月 3400円  
 日曜版1カ月 800円

# 手良民報

生活相談はお気軽に  
 電話 78-0943  
 赤旗読者に配達  
 発行  
 日本共産党・手良支部

## 33名が参加して 2回目の「てらコン」

手良地区を元気にしよう、活性化しようというキャッチフレーズのもと、昨年11月に続いて、田舎で開くスポーツ合コン「てらコン」第2回目。4月28日に手良小学校体育館、野口公民館を会場に行われました。

参加者に手良の良さをわかってもらおうと、出逢いを創造する場として、パートナー探しはもちろんなこと、気の合う新たな友達に出会えるイベントとして手良地区活性化促進会議企画委員会が計画したものです。

当日は20歳以上の男性21名、女性12名が参加し、実行委員会のスタッフ9名が活躍しにぎやかに行われました。地元手良からは男性9名が参加しました。

最初に手良小学校体育館でみんながトリムパレーを楽しみました。

「てらコン」プロフイルとして各人の名前、ニックネーム、年齢、仕事、趣味(特技)、好きなこと(もの)、アピールポイント、メッセージ等を書いたものが壁に掲示され各人がアピールしました。

その後会場を野口公民



「てらコン」フリートークタイム

館に移し席は自由にとり自己紹介の後、飲食もあつてフリートークタイムでそれぞれ自由に懇談しました。

二次会は市内のカラオケに15人が参加し雰囲気を変えていっそう懇親を深めました。

次回は秋9月に予定しています。

## 6月1日の講演会 の成功

5月15日に「手良9条の会」の役員会があり当面の活動について話し合いました。

講演者は「風雲を空守」の参議院選挙の一大争点となつてい中で、悔いを残すことのないように、みんなが憲法についてわかりやすく勉強しようということ、当面は6月1日の講演会を成功させようということになりました。

講演会  
日時 6月1日(土)  
午後6時30分より  
場所 手良憩いの家  
講師 柳川ひろみ

「今、なぜ憲法9条か」



「鐘付の堤」のハナモモ

平成22年に中坪の「鐘付の堤」の改修工事が行われ、その時に記念に土手に植えた二十本のハナモモが今年花をつけました。

八重咲きもあり、色々の種類の花が時期も違つて咲くようです。

来年はもっときれいに見事に咲くと思われ、静かな場所でお花見が期待されます。

(T)

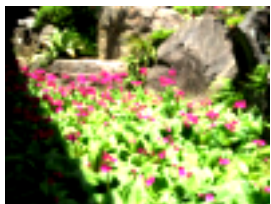
## クリンソウが花期を迎えました

野口中組の羽柴晴雄さんのクリンソウが花期を迎えています。

羽柴さんの家の東、北側の空き地にクリンソウが生じており最盛期には見事な花のよつです。

クリンソウ(九輪草)は山間地の、比較的湿潤な場所に生育し、花は花茎を中心に円状につき、それが数段に重なる姿が仏閣の屋根にある「九輪」に似ていることから名前の由来となっているようです。

このクリンソウは15年ほど前に市の頒布会で貰つ



クリンソウ

た二本の苗を定植し毎年種子を採取しそれを家の東、北側に播種して増やし、それが今は広く群生したとのこと。

その場所はコケが生えるくらいに湿潤な場所であつたので適地だったようです。

花の見ごろは6月の下旬ころですが、羽柴さんの同級生や野口の高齢者クラブなどがすでに見学を予定しているそうです。

(T)

## てらコンのさど

手良地区活性化会議企画委員会の「てらコン」実行委員会により4月28日に昨年11月に続いて第2回目の「てらコン」が行われた。活性化会議の企画委員会は以前は手良坂の花壇の管理などを中心に行っていたが、それは善意の個人の人がかかるようになり、昨年からは「てらコン」に変わった。花壇の管理も大変であるが「てらコン」はいっそう重い課題である。少子高齢社会を迎えて、手良地区の活性化のためにも大事な課題である。参加者は昨年36名、今年は33名であるが、いまだに「田舎」で若い人にこれだけ集まってもうのは至難の業と思われる。実行委員会のスタッフのみならず、努力と配慮に敬意を表したい。「パートナー探しはもちろんなこと、気の合う新たな友達に出逢える」イベントとして呼びかけているが、パートナーが見つければそれにこしたことはないが、今の若い人達はなかなか友達を作る機会も少ないらしいのでそのことも大切なことであると思われる。

この出合いを機会にパートナーが出来、結婚し、子供が生まれれば、地区として大変喜ばしいことである。しかし、結婚は基本的には個人の問題なので側からは願ひ、祈るしかない。若い人達の奮起を期待したい。

(T)

## ひろみ通信

169

## 橋下維新の会の慰安婦発言は許せない!

維新の会の橋下大阪市長の「戦時中従軍慰安婦は必要だった」とか、アメリカ軍関係者に「米兵に風俗業を活用してはどうか」と提案したという一件は、どちらも断じて許されない発言です。

おまけに、アメリカ軍と反省しましたが、従軍慰安婦の件は、発言で慰安がせしめられたと、騒がせしたとは言いませんが、撤回はしません。維新の会の石原代表もそれをよしとして、党でしようか。何という政治の時中、沖繩にはたくさん。韓軍慰安所があり、韓国や北朝鮮が

## 安倍首相も侵略戦争 だったと認めない

安倍首相は、井上さとし参議院議員の国会質問で、第2次世界大戦で日本が起こした戦争について、侵略戦争と認めませんでした。

ですから、維新の会といっしょに、「憲法改定は96条から変えて行く」と意見が一致していません。

96条を最初に替えて、憲法改定のハードルを、国会議員の3分の2の発議から、2分の1の発議に下げて、その次は、憲法9条改定が待っています。

憲法9条を変えれば、海外でアメリカといっしょに戦争ができるからです。自民党の憲法草案には、基本的な人権の尊重という一条が無く、言論の自由も「公益に反しない限り」尊重すると変えま

基本的な人権と、言論の自由は、戦争をするためには制限が必要だからです。

憲法改悪を阻止するために、日本を海外で戦争する国にしないために、参議院選挙を共にたたか

5月20日  
市議会議員 柳川ひろみ

### 「手良誌」編集を振り返って

(一) 資料の所在と今後の課題

歴史をまとめるのに第一に必要なのは、何と云って史料です。

史料には、事実が記録された文献資料が先ず挙げられますが、これは手良の場合「大久保文書」が筆頭格でしょう。手良誌にも断つてありますが、第一級の史料といえます。

「承知のように江戸時代の手良は幕府の直轄領すなわち天領でした。天領は通常は代官が支配一切を仕切ります。テレビの「水戸黄門」では、悪代官が悪徳商人と結託して賄賂を仲立ちに様々な悪事を働きます。菓子折りの中身はすっしりと重い小判で、「ぶっぶっぶっ、三河やおぬしも悪まのう」

### 「入棺体験」一緒にかがの記事を読んで

小松利江

4月14日号、「しんぶん赤旗」の日曜版に興味深いコラムが目についた。

棺桶の記事が本当に細かく書いてあったり死の考え方がここまで出来るのと。

今まで、何となく世間話の中で断捨離とか、終末支度とか、遺産相続な

というやり取りが定番ですが、実際にはそんな悪事がしょっちゅうあったのでは民衆はたまりません。

手良に関しては、そういうスキヤンタルの記録は残っていませんが、手良誌72ページには通達の例として「飯田に駐在する役人衆へ音物(いんもつ)を贈つてはならない」という一行があります。

音物とは賄賂のことです。そういう事実があったから、このようなお触れが出されたとも考えられます。

手良を支配したのは、千村平右衛門(ちむらへいえもん)という大名格の旗本で、本拠地は、前にも書いた通り久々利でした。

その久々利には、家老職に当たる者以下数十人が駐在し、実際に伊那谷の村々11か村を預り治めたのは、飯田荒町の代官所でした。村々からの報告や幕府や

代官所の命令、争いごとの訴訟文書などは、この飯田の代官所に保管されていた。

明治維新の際、飯田代官所に残された膨大な文書の処分にあたって、それを引き取り保管したのが、大鹿村の大久保家でした。大鹿村も千村の預かり地であった関係でしょう。

しかし、大久保家でもその保管に困り、結局下伊那と上伊那の各教育界(教員の組織)がそれぞれの関連文書をもらい受け整理しました。したがって千村関係の文書を「大久保文書」と言っわけです。

上伊那の分は現在伊那市創造館に収納されています。手良誌も大いに利用させてもらいました。

後は各村の旧家に残されている文書が頼りですが、共有文書として中坪、野口、八ツ手、下手良に残っている

るものもあります。中でも中坪の郷倉(こうくら)に保存されているものには大事な文書があり、例えば寛文9年(1669年)の検地帳等は大変貴重なものです。

野口の場合、区で保管している共有文書は明治維新以後のものが殆どで、それ以前のものは名主など村役人をやった旧家に分散的に所蔵されています。

八ツ手や下手良もどちらかという共有のものも少なく個人蔵が多いようです。手良誌作成に当たり、それらを詳細に調べる能力的時間的余裕がなく、多くは「伊那市史」作成の時に各旧家の文書を調査してコピーを取ったものが市史編纂資料室(これも創造館内)にあり、そのお世話になりました。

(北原 明)

ど、残して置いては困る身の回りを出来るうちに整理する、これが一杯の最後の仕事だと思っていた。

棺桶も最高級品になると300万円もするそう

な。形式ばった葬儀になるとただ流されて段取りについてゆくのが精一杯で悲しみは後々になって出てくる事が良く判った。

永遠の別れの葬式を生前にする、本当にできるだろっか、私は夫を見送つてから死という本当の意味が心の奥底にしみこんで離れない。

先日テレビでも入棺体験をしていた。夫婦で話し合いができて、奥さんが見送られることになり、近親者のみに取り囲まれて静かに執り行われる葬儀を見た。

お試しだと判っていて白装束で棺桶の中に横たわっている姿を見たとき、生と死を一度に見たような言葉にはできない感情が脳裏をグルグル回っていた。

お骨を海や山にまくことさえ抵抗を感じていたのに、時代の流れは凄いなあと思いながら、死に

### 吟行を行う

井上井月を偲ぶ句会

手良公民館と「井上井月を偲ぶ句会」による、散策をして俳句を創る「吟行」は四月十九日の午後、笠原の「六道の堤」で行い、八名が参加しました。選者・助言者は春日愚良子先生。

今年には桜は散った後でしたが、堤の周りを散策し水に浮かぶ鴨や花筏を見ながら俳句を創りました。風が強く寒くなりましたので早々にそこを引き上げ、会場を郷の坪集会所に移して俳句をまとめ、選句をして先生の評を聞きました。

先生より吟行は外へ出て集中して物を良く見ているから、そつがなく偏りがなくいい句が出来る、自分を空にして自然を見る、出来るだけ言葉を省略すること

が大事などの話がありました。その後先生を囲んで宴となり、俳句や井月の話、四方山話に花が咲きました。

当口の俳句は 強風にあらわれ桜木姿出し 小松栄子 強い風しがみついている桜か 酒井豊子

春風ヒメオドリコソウのごぞりたつ 高橋 忠 悠然と山はあるなり桜散る 高橋きんよ

初蝶がネギの畝間を飛んで行く 高橋正行 桜(しべ)花にも勝る色留む 向山光子

花過ぎて山裾の邑(むら)静かなり 宮原達明 春疾風風筋見せて沼光る 春日愚良子(選者) なお、過日、「長野日報」にも掲載されました。



「六道の堤」吟行

### 蟹沢桜公園でお花見

野口高齢者クラブ

4月25日に野口高齢者クラブが蟹沢桜公園で約50人が参加してお花見を行いました。区と社協が共催。



蟹沢桜公園

### 紙教室やっています

連絡先 高橋 七八〇九四三



小松栄子

丁度八重咲きのピンクの桜が満開でした。長野県を中心に活躍している富士見町の演歌歌手中山たかさんの歌謡ショーあり、地元の歌手が正装してのカラオケあり、詩吟クラブの吟詠もあって賑やかに行われました。

蟹沢桜公園は平成13年に日本桜協会から4種類の苗木70本の寄贈を受けて手良地区農業振興委員会と地元のみなさんにより開設され、以後は蟹沢耕地により管理されています。

(おながい) 身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。

七八〇九四三 高橋



(つづく)